

【高等学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	重点目標のうち、「基礎学力の向上」「ボランティア活動」については概ね達成できた。 「あいさつ運動の促進」については取組は評価できるが、生徒のあいさつの活性化にはつながらなかった。 「広報活動」については、学校内外からの評価も高く、志願者数にも反映されている。
------------------	---

2 学校教育目標	生徒一人ひとりの個性や特性に応じたカリキュラムや体験活動を通して、地域や社会に貢献できる心豊かな人材を育成する。
----------	--

3 本年度の重点目標	①基礎学力の定着 ②部活動の活性化 ③あいさつ運動の促進 ④ボランティア活動の充実
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		5 最終評価				主な担当者		
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価				
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言			
●学力の向上	○基礎学力の定着と向上	○基礎力診断テストのD3層を各学年70%以下にする。	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「佐賀県いじめ防止基本方針」に基づいて行動できる職員を90%以上にする。	・基礎力診断テスト前の対策を各教科と連携して行う。 ・D3の学力レベルが持つ意味を生徒に理解させる。	・年間10回程度、漢字テストを実施する。「マナトレ」教材を活用する。 ・電子黒板及び学習用PC活用に関する職員研修を実施し、活用率を学期に2回調査する。	・2,3年の「ボランティア」の授業及び校外活動への受講・参加や情報提供を随時行う。 ・1年生の「体験学習基礎」や2,3年生の選択科目にある体験的授業への積極的参加を促す。	・	・	・	・	進路指導部
	○漢字力テスト及びマナトレ認定テストの実施 ○授業実施時の電子黒板及び学習用PCの活用	○漢字力テストの合格者、及びマナトレ認定テストの合格者を85%以上にする。 ○電子黒板及び学習用PCの活用率を各授業平均で50%以上にする。										
●心の教育	◎望ましい郷土愛の醸成	◎佐賀を学ぶ時間を通して、理解や意識が向上したと考える生徒を80%以上にする。	○規則正しい生活リズムを確立させる。 ○朝食摂取率を70%以上にする。 ○むし歯保有率を70%未満にする。	○「教育委員会規則」に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・朝食アンケートを行い、生活習慣、食生活について振り返り考えさせる。 ・学校歯科医による講演会の中で、ブラッシング指導を行ってもらう。	・業務の効率化と定時退勤の呼びかけにより、時間外勤務時間の平均を昨年度以下にする。 ・業務のスクラップにも重点を置き、業務量を低減する。	・	・	・	・	・	生徒指導部
	●望ましい生活習慣の形成	○業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減										
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	○規則正しい生活リズムを確立させる。 ○朝食摂取率を70%以上にする。 ○むし歯保有率を70%未満にする。	○「教育委員会規則」に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	○「教育委員会規則」に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・朝食アンケートを行い、生活習慣、食生活について振り返り考えさせる。 ・学校歯科医による講演会の中で、ブラッシング指導を行ってもらう。	・業務の効率化と定時退勤の呼びかけにより、時間外勤務時間の平均を昨年度以下にする。 ・業務のスクラップにも重点を置き、業務量を低減する。	・	・	・	・	・	保健厚生部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	○業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減										

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者							
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言								
○部活動	○部活動参加の推進	○部活動参加率65%以上 ・部室や活動場所の整理整頓		○「通級による指導」の導入 ○令和3年度の「通級による指導」の完全実施を目指し、本年度後期より、試行的な取組を開始する。	・4月に体験入部を二日間設定。新入生は全員参加とする。 ・部室や活動場所の使用状況の点検を年4回実施。 ・部活動ごとに、練習計画書の発行を依頼。	・	・	・	・		・	生徒会					
○あいさつ運動	○あいさつ運動の推進	○あいさつを通して、互いを尊重し、良い関係性を確立できるよう、運動を継続する。 ・「あいさつを積極的に行っている」と感じる生徒の数を70%以上にする。	・厳木駅や通学路の清掃活動とあいさつ運動を週2回実施(生徒会および部活動の輪番制)。 ・集会時や、授業時の始まり、終わりの挨拶の徹底。							・			・	・	・	・	生徒会
○教育相談・生徒支援体制の充実	○「通級による指導」の導入	○令和3年度の「通級による指導」の完全実施を目指し、本年度後期より、試行的な取組を開始する。															

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------